



この道☆ひと筋

秋の叙勲受章者



「予防消防活動に尽力」

瑞宝単光章

ないとう たけし
内藤 武さん (園部町・64)

昭和47年4月から平成9年3月まで、また平成11年4月から平成19年3月までの計33年間、消防団員として予防消

防を中心に人命と財産を守る活動に尽力されました。とりわけ、平成11年4月からは園部町消防団副団長として、ま



「防火・人命救助に尽力」

危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章

ひとみ ひでお
人見 日出男さん (八木町・68)

昭和40年4月から平成14年3月までの37年間、消防署員として火災の抑圧や人命救助に尽力されました。京都中部

広域消防組合が設立された昭和57年4月以降は、広大な面積となった管内において、的確な初動体制の整備と適切な

指揮命令に手腕を発揮。多くの人命と財産を守ってこられました。災害時応援協定という考え方が定着していなかった平成7年1月の阪神淡路大震災では、テレビ越しに流れてくる災害を目のあたりにして、助けに行きたくても行けないもどかしさに悩まれたそうです。

退職後は、再就職した福祉施設で防火意識を高める取り組みに尽力されるとともに、地域において防火・防災意識の高揚に寄与されました。

た合併後は南丹市消防団副団長兼園部支団長として陣頭指揮に当たられました。平成15年に行われた京都府知事表彰調査では、消防団幹部の一人として団をまとめ、「極めて優秀」という最高の評価に貢献されました。

退団後は、地域住民として消防団活動を支援するとともに、昨年の10月からは南丹市人権擁護委員として、人権尊重思想の普及高揚のほか、人権侵害による被害者の救済に寄与されています。

総務大臣表彰

公平委員会制度60周年記念

はった あつこ
八田 敦子さん (八木町)

平成11年12月に八木町公平委員会委員に就任以来、合併後も引き続き南丹市公平委員会委員として、11年5カ月以上の長きにわたって職務に従事され、現在も職員の人事行政における公平・公正な運営に尽力されています。また、行政委員への女性登用の先駆者として、女性の立場を反映させる活動に対しても熱心に取り組まれており、これらの功績が認められ、10月28日、総務大臣表彰を受賞されました。

